

進めていく必要があると考えます。現在、ハローワークと連携した就職情報の提供、定年引き上げの指導等を現在行っています。

公民館でのいろいろな生涯学習事業には、方向性、将来性のあるものもあり、中には非常に個人還元的なものもありますが、将来性はあると思います。活動と交流を通じて社会参画を果たしていくような学びを支援していく、そういう施設として整備していくことが我々の使命と考えます。

市長の政治姿勢と努力目標

Q 市長の努力目標の進捗状況だが、すぐにできることや条例、予算化が必要なものもあり、すべてすぐにできるとは思っていない。市民の期待に答えるために1期4年間にはおおむね実現できるように取り組んでいただきたい。決意のほどを改めてお伺いします。

A 後援会でまとめた努力目標は、選挙前の後援会活動の段階で、後援会

の皆様にお示しし、いろいろと政策ニーズをやりとりしました。この中にも市長報酬3割カット、助役公募、こういうことはもう既に実施しておりますし、市長ホットラインは私の携帯電話はいつも名刺に開示し、メールも直接届くようになっていきます。資産売却で借金返済も、既に対応しています。財政再建を民間の発想で、自治体を経営するという発想で取り組んでいくことも既に取組んでいます。環境の先進都市、ふるさとの風景を活用した魅力的なまちにと、バイオマスタウン構想もやっています。

いろいろな新しい取り組みをこれからも続けていきますが、私の思いは1年前と全く変わっていません。ふるさと加西市は、残念ながら実質過疎地で、財政も火の車、解決すべき難問が山積しています。根本から再生し活力を取り戻すために、市長の経営手腕が問われています。使命感や指導力に欠ける者が市長であっては、職員の指揮や行政サービスの質は自ずと低下します。政治

をよくするには、役所や議会にすべてお任せすることをやめ、税金の無駄遣いや怠慢がないか、私たちが有権者がしっかりとチェックすることが大切です。主役である個々の市民が、政治に無関心であり続けることは許されません。政策論争のない、村型のしがらみ選挙をいつまでも繰り返しては加西市を変えられません。そういうことをいつも私は自分自身の肝に命じ、またいろいろな会合で市民の皆さんに訴えかけて、市政の刷新に臨んでいます。

民間委託の成果

Q 中川市政は財政再建を最優先課題として民間委託を積極的に進められている。これらの取り組みの成果は実際に生じているのか。今後継続しての成果が見込まれるのか。そしてそれらの成果が市民へ還元されるのか。

A 民間委託の上下水道人件費の削減は、まだ実績値は確定しておりませんが、1,200万の削減効果が出

ております。人件費につきましては7名が3名に、4名の減で3,500万円の減となる見込みです。このお客様センターは3カ年の契約で、単年度ごとに3カ年継続して問題がなければ執行することにしています。受付事務の接客態度と、本庁舎内で他の要件とともに済ませることができることが大きなメリットと考えます。将来、市民サービスの向上を図るために土曜日、日曜日の営業も今後検討していきます。また、滞納されておりました水道料金等がこの2カ月だけで数100万円の回収ができております。

それから、北条地区ゴミ収集については、本年の4月より北条地区の燃やせるゴミ、燃やせないゴミ、埋め立てゴミの収集について民間委託を行っており、この効果は、予算の比較によると約1,160万、人件費は、職員2名と嘱託員2名、合わせて2,200万円の減を見込んでいます。

市民への還元については、還元成果を、お金を一たん市民の皆さんにお返しすること

が一つの還元のやり方ですし、あるいは将来の負担をその分軽減させていただくことも還元のやり方です。その辺市民の皆さんのご理解とご意向、それから行政としての手間等も勘案しながら、適切な対応をしていきたいと思えます。

AEDの設置状況

Q 公共施設におけるAED設置状況、設置に対する考え方について、教育委員会の所轄の学校施設、また公民館についてどのように考えるか。

A いま突然死の非常に大きな原因として、心臓の細動が原因になっています。それを除くことができます。それがAEDということ。近年、各自治体などで設置が進んでいます。加西市はことしに入って市役所に設置されたものを入れて8台ですが、小学校、公民館等にはまだ設置していません。これも将来の検討課題になると思います。各周辺の設置状況は、西脇市は19台設置で、その中小・中学校に3台です。小野